

# ぐんまの道づくり

群馬県道路協議会

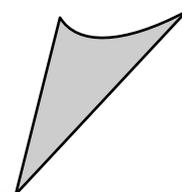


平成15年度  
アウトカム・レポート



# 目次

1. 「平成15年度アウトカム・レポート」の策定について	1
2. 政策方針と成果指標の設定	2
3. 成果指標による業績の評価	3
4. 交通事故の削減	4
5. 医療・福祉の向上	6
6. 渋滞の解消	7
7. 自転車走行空間の確保	11
8. 産業・観光の振興	12
9. 情報の公開	14
10. 今後の課題	15



# 1. 『平成15年度アウトカム・レポート』の策定について

## 地域における道路行政マネジメントの確立に向けて

### 新たな道路行政への転換

○道路行政では、他の行政分野、公共事業分野に先駆けて、成果主義の行政マネジメントを推進しています。群馬県においても、昨年度に目指すべき成果を事前に宣言した「平成15年度ぐんまの道づくり アウトカム・プラン」を発表し、成果主義の道路行政マネジメントを開始しました。

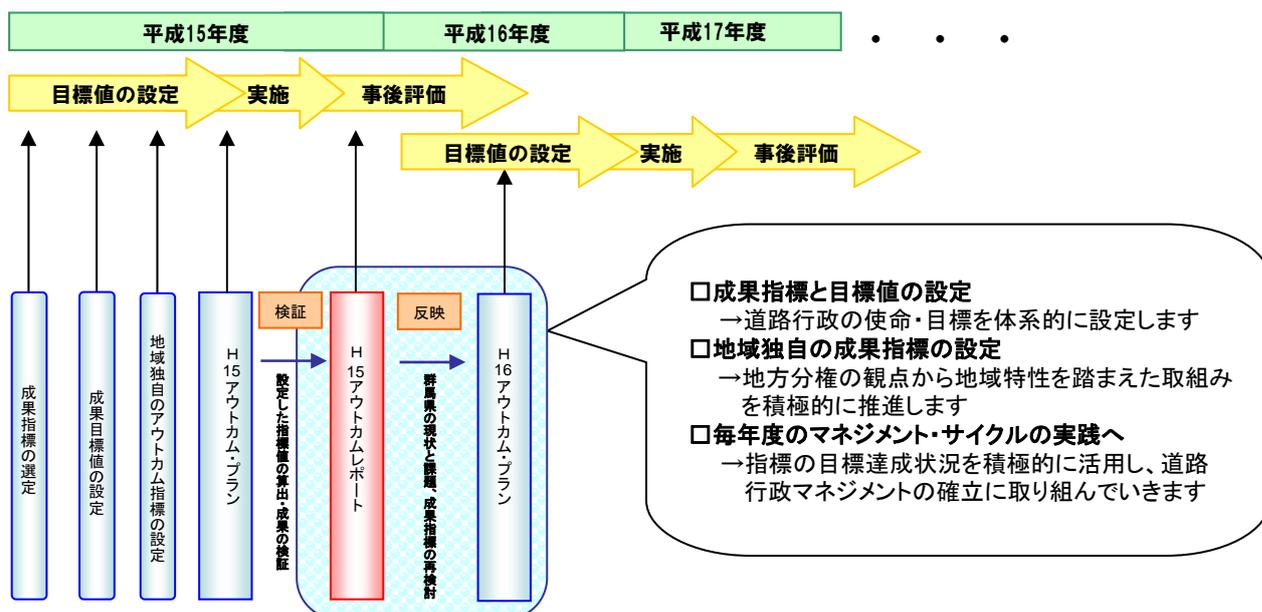
### 成果主義の道路行政マネジメントがはじめて一巡

○今年度(平成16年度)は、事前に数値目標を明確に打ち出し、事後に達成度を検証し、評価結果を次年度の行政運営に反映するという「マネジメント・サイクル」が一巡するはじめての年度です。  
→【「平成15年度アウトカム・レポート／平成16年度アウトカム・プラン」の策定】

### 「平成15年度アウトカム・レポート」の策定

○群馬県では、県民の皆様の生活実感にあう道路行政への転換をめざし、地域の特性や課題、ニーズを踏まえて選定した成果指標にもとづく「平成15年度アウトカム・レポート」を策定しました。ポイントは以下の3点です。

- ①目標の達成度を、達成状況などのデータとともに公表
- ②実施した施策・事業の効果を検証
- ③課題を今年度につなげる仕組み(マネジメント・サイクル)の導入

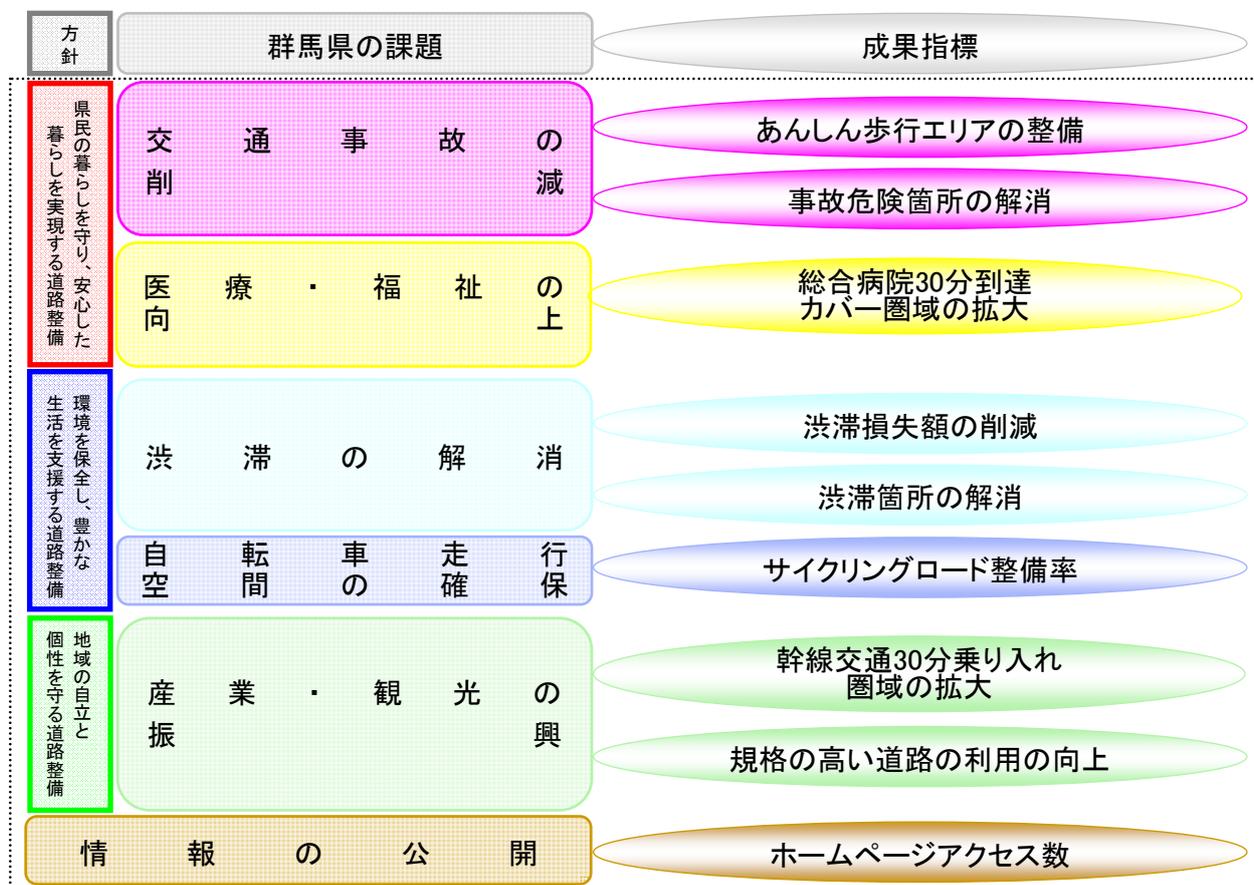


## 2. 政策方針と成果指標の設定

### ◆ 4つの方針と9つの成果指標の選定 ◆

「平成15年度アウトカム・プラン」では、群馬県の道路行政が目指すべき成果を表す指標として、施策の特性に応じた9つの指標を設定し、4つの施策方針（政策課題）に応じて分類した上で、社会的背景（群馬県の課題など）や施策の必要性、平成15年度に実施される事業、およびそれに伴い改善が期待される指標の現況値・目標値を県民の皆様に提示しました。

### 「平成15年度アウトカム・プラン」で設定した4つの施策方針と9つの成果指標



事業の実施による成果指標値の改善状況の把握・検証と課題の整理  
：「平成15年度アウトカム・レポート」

平成16年度の群馬県の道路行政への取り組み：「平成16年度アウトカム・プラン」

### 3. 成果指標による業績の評価

「平成15年度アウトカム・プラン」において平成15年度の目標値を設定した4つの指標のうち、群馬県の道路行政の成果として、3つの指標が目標を達成しました。

	課題	成果指標[単位]	対象路線・範囲※1	H14 現況値	H15目標値	H15実績値	目標 達成状況	対応ページ
県民の暮らしを守り、安心して暮らすを実現する道路整備	交通事故の削減	あんしん歩行エリアの整備[箇所]	直轄国道 一般国道 県道 市町村道	16箇所	あんしん歩行エリアに指定された16箇所の整備により、平成19年までにエリア内の死傷事故件数の2割削減をめざす		事業 継続中	P 4
		事故危険箇所の解消[箇所]	直轄国道 一般国道 県道	174箇所	事故危険箇所に指定された174箇所の解消により、平成19年までに事故危険箇所内の死傷事故件数の3割削減をめざす		事業 継続中	P 5
	医療の向上	総合病院30分到達 カバー圏域の拡大[%]	高速道路 直轄国道 一般国道 県道	83.4% 可住地面積における割合 ※2	83.8% 約7,000人を新たに 到達可能とする	83.4%	目標 未達成	P 6
生活を支援する道路整備	渋滞の解消	渋滞損失額の削減[億円/年]	高速道路 直轄国道 一般国道 県道	580 億円/年	561億円/年 西久保交差点及び 坂東大橋の整備	552億円/年	目標 達成	P 7
		渋滞箇所の解消[箇所]	高速道路 直轄国道 一般国道 県道	21箇所	19箇所	19箇所	目標 達成	P 8
	自転車の確保	サイクリングロード整備率[%]	サイクリングロード ネットワーク計画の 対象路線	45.2%	平成18年までに概ね完成 (平成15年度実績値:50.3%)		事業 継続中	P11
個性を守る道路整備	産業・観光の振興	幹線交通30分乗り入れ 圏域の拡大[%]	高速道路 直轄国道 一般国道 県道	81.2%	上信自動車道や北関東自動車道、およびインターチェンジへのアクセス道の整備により将来的には100%の達成をめざす		事業 継続中	P12
		規格の高い道路の 利用の向上[%]	高速道路 直轄国道 一般国道 県道	13.5% H11の実績値	上信自動車道や北関東自動車道、国道17号上武道路の整備促進により大幅な向上をめざす		事業 継続中	P13
情報の公開		ホームページアクセス数[件/年]	全国	7,786 件/年	80,000件/年	148,077件/年	目標 達成	P14

※1:表中の「対象路線」は以下のように分類しています  
 高速道路:高規格幹線道路  
 直轄国道:直轄国道(群馬県内では17・18・50号が該当)  
 一般国道:補助国道(上記以外の国道が該当)  
 県道:主要地方道・一般県道

※2:可住地面積とは、総面積から林野面積と湖沼面積を差し引いた居住可能な土地の面積のことを指します。

## 4. 交通事故の削減①【あんしん歩行エリアの整備】

### 課題

◇群馬県は、平成14年の人口10万人あたりの交通事故死者数が10.7人と全国で4番目に高く、その中でも歩行中あるいは自転車乗車中に死亡する人の割合が41.6%と、歩行者や自転車利用者の安全の確保が課題となっていました。

### 平成15年度の業績《実施した事業とその成果》

### 事業

◇歩行者及び自転車利用者の安全な通行を確保するため、緊急に対策が必要な住居系地区又は商業系地区の16箇所を「あんしん歩行エリア」として指定し、関係市及び公安委員会と連携して整備促進に向けた取り組みを行ってきました。

◇歩行空間や信号機、交差点の改良や歩行者・自転車を優先するゾーンの形成などにより**平成19年までに死傷事故件数を2割削減**することを目標に整備促進に向けた取り組みを始めました。

事業  
継続中

### 達成度報告

<今年度対策が進んだ対策事業 >

【国道18号（(都)磯部原市線）】

地区名 : 安中市原市地区

事業内容 : 市道取付・歩道橋架替

<今年度整備された対策事業 >

【主要地方道 前橋玉村線(前橋市南町)】

地区名 : JR前橋駅(北口・南口)地区

事業内容 : 交差天部の四隅にポストコーンを設置することにより、自動車の巻き込み防止等の自転車歩行者の安全制の向上をはかりました。



あんしん歩行エリア

<今後整備を進めていく安心歩行エリア地区 >

	地区名	主な対策
1	JR前橋駅(北口・南口)地区	歩道、コミュニティ道路の整備
2	前橋市広瀬地区	歩道、コミュニティ道路の整備
3	前橋市六供地区	歩道、コミュニティ道路の整備
4	JR高崎駅(東口・西口)地区	歩道、駐輪施設の整備
5	高崎市東町地区	通学路、バリアフリー整備
6	渋川市渋川地区	通学路、バリアフリー整備
7	富岡市富岡地区	歩道整備、電線地中化
8	安中市原市地区	幹線道路の対策
9	沼田市沼田地区	歩道、コミュニティ道路の整備
10	伊勢崎市宮子地区	歩道の段差・勾配解消
11	伊勢崎市除ヶ・富塚地区	歩道の段差・勾配解消
12	太田市飯田・小舞木地区	歩道、コミュニティ道路の整備
13	太田市矢島地区	歩道、コミュニティ道路の整備
14	桐生市桐生地区	歩道、コミュニティ道路の整備
15	桐生市広沢町地区	歩道、コミュニティ道路の整備
16	館林市本町・緑町地区	歩道整備、電線地中化



現場の様子

資料:国土交通省・群馬県

### 今後の課題

◇「あんしん歩行エリア」内における対策事業への積極的な取り組み  
◇単年度で成果の検証ができる指標の追加を検討

- ・平成16年度は6地区で地元市町村などと推進組織を立ち上げて整備に着手していきますが、他の10地区においても積極的に事業を推進していくことが必要です。
- ・群馬県では平成15年度に死傷事故率が25%増加し(全国第1位)、死亡事故削減に向けた取り組みが急務であるため、中長期的な指標だけでなく単年度で成果の検証が可能な指標をあらたに導入する必要があります。

## 4. 交通事故の削減②【事故危険箇所の解消】

### 課題

◇交通事故が多発する群馬県の中でも、特に死傷事故率が高かったり、死傷事故が多発している174箇所が「事故危険箇所」として指定されており、早急な対策を図ることが課題となっていました。

### 平成15年度の業績《実施した事業とその成果》

### 事業

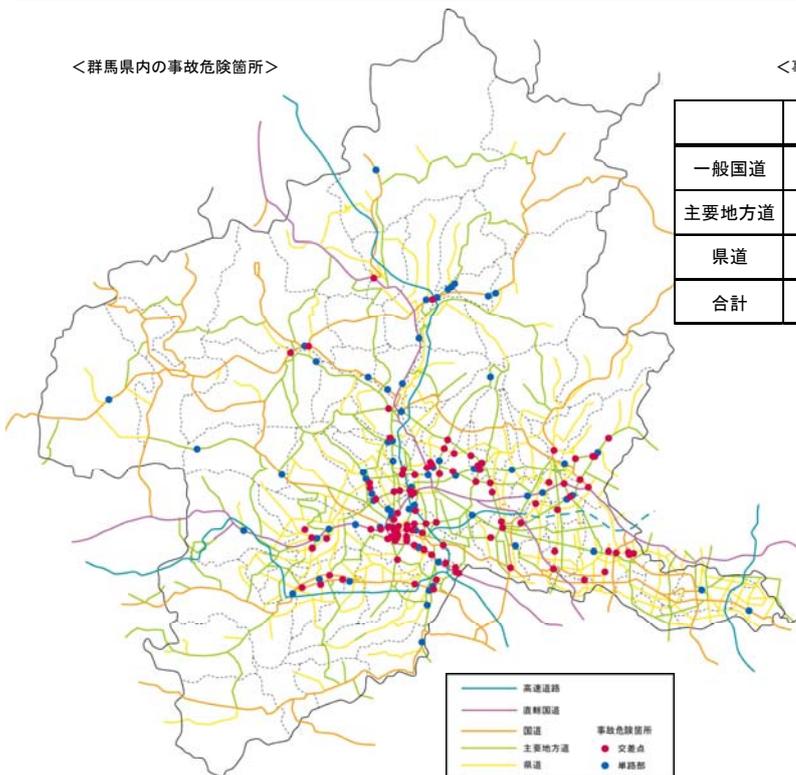
◇死傷事故率が高かったり、死傷事故が多発している事故危険箇所について、公安委員会と連携して死傷事故対策の実施に向けた取り組みを行ってきました。

◇交差点改良、右折車線や道路照明の設置、道路標識や歩道の整備等面的かつ総合的な死傷事故対策により**平成19年までに死傷事故件数を3割削減**することを目標に整備促進に向けた取り組みを始めました。

**事業  
継続中**

### 達成度報告

<群馬県内の事故危険箇所>



<事故危険箇所(174箇所)の内訳>

	単路	交差点	合計	~H15対策実施箇所
一般国道	34	35	69	30
主要地方道	44	33	77	22
県道	20	8	28	13
合計	98	76	174	65



今年度対策が実施された  
国道17号(相原病院前交差点)

資料:国土交通省・群馬県

### 今後の課題

- ◇「事故危険箇所」の解消に向けた対策事業への積極的な取り組み
- ◇単年度で成果の検証ができる指標の追加を検討

- ・中長期的な目標達成をめざし、今年度以降も継続して「事故危険箇所」の解消に向けて積極的に取り組んでいくことが必要です。
- ・群馬県では平成15年度に死傷事故率が25%増加し(全国第一位)、死亡事故削減に向けた取り組みが急務であるため、中長期的な指標だけでなく単年度で成果の検証が可能な指標をあらたに導入する必要があります。

## 5. 医療・福祉の向上【総合病院30分到達カバー圏域の拡大】

### 課題

◇県内に16箇所ある総合病院に30分以内で到達できない地域が山間部を中心として残されており、県内全ての地域で日常生活において水準の高い医療サービスを受けることが可能となる道路整備を進めることが課題となっていました。

### 平成15年度の業績《実施した事業とその成果》

### 事業

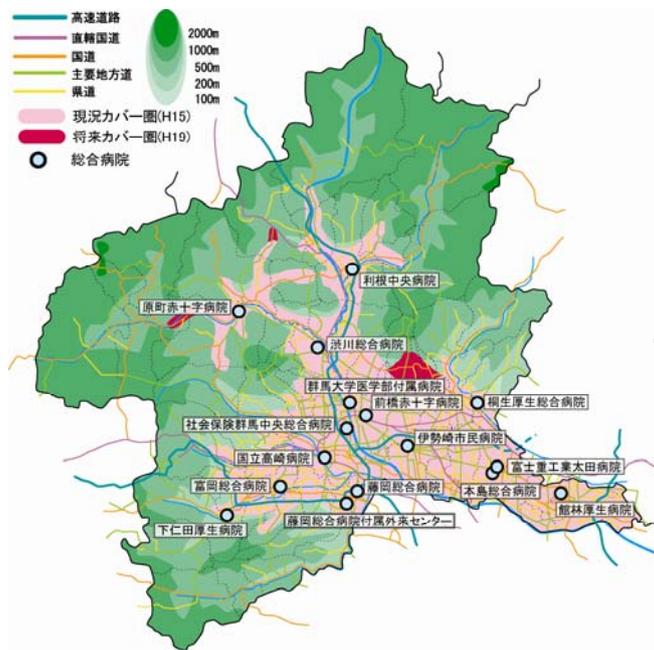
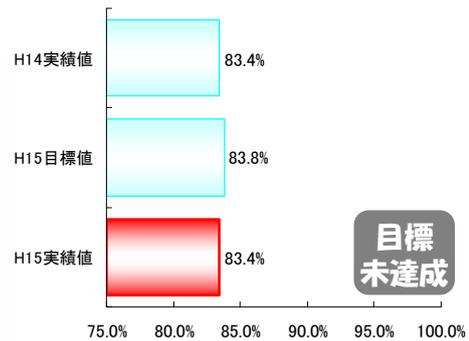
◇山間部における道路の整備を進め、総合病院に30分以内で到達可能なエリアの拡大に取り組みました。

### 達成度報告

◇平成14年度現況値：83.4%  
 ◇平成15年度目標値：83.8%  
 ◇平成15年度実績値：83.4%【未達成】  
 ※引き続き事業を進め、平成19年度までにカバー圏域を87.4%に拡大することをめざします

・平成15年度の目標値は、今後5年間で事業が完了する路線の整備に伴う圏域の拡大(年間0.4%)に基づき設定しましたが、再度検証をしたところ、今年度完了した事業ではカバー圏域は拡大しませんでした。

<目標の達成状況>



・平成19年度までには、(主)中之条湯河原線(須川バイパス:新治村)など4箇所の整備により、8つの市町村において総合病院30分到達カバー圏域が拡大します。

(主)中之条湯河原線 須川バイパス  
(平成16年度供用予定)



### 今後の課題

◇全ての地域で医療サービスを受ける事が可能となる道路網づくり

・平成15年度に引き続き、山間部等において道路の整備を進めることにより、県内全ての地域で日常生活において水準の高い医療サービスを受けることが可能となるような道路整備を進めていくことが必要です。

## 6. 渋滞の解消 ①【渋滞損失額の削減】

### 課題

◇群馬県内の渋滞箇所(未整備箇所)における損失額は年間580億円にのぼっており、特に渋滞が多発する直轄国道や首都圏に直結する埼玉県境などにおいて、これらの渋滞箇所を重点的に解消していくことが課題となっていました。

※渋滞箇所とは、平成10年度から実施されている「渋滞対策プログラム」において位置づけられているポイントのことで、群馬県では60箇所が指定されましたが、平成14年度末時点ですでに19箇所が解消(対策事業が完了)、20箇所が緩和(対策事業が一部終了)されており、残る21箇所が未整備箇所として対策が進められています。

### 平成15年度の業績《実施した事業とその成果》

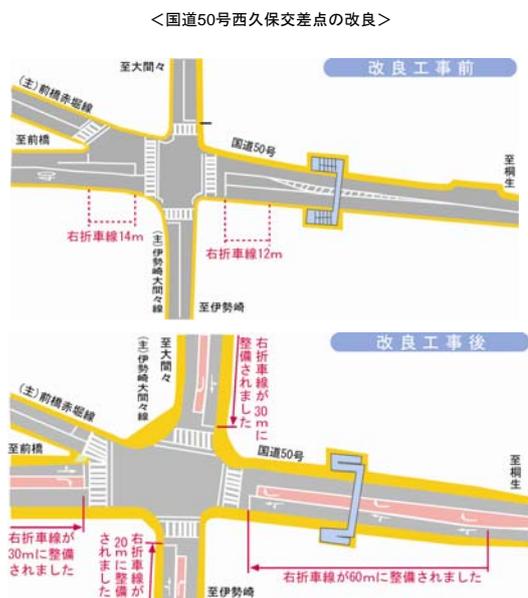
### 事業

◇渋滞箇所に指定されている国道50号西久保交差点の改良と国道462号坂東大橋の架け替えが完了しました。また、平成15年度には、残る19箇所のうち18箇所においても事業が進められ、早期の対策完了、渋滞の解消が期待されます。

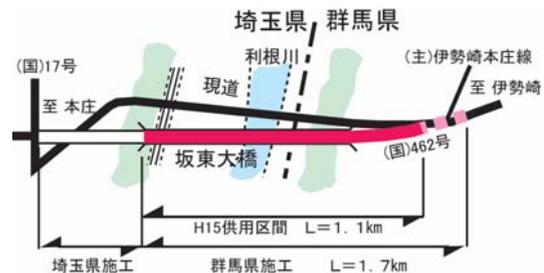
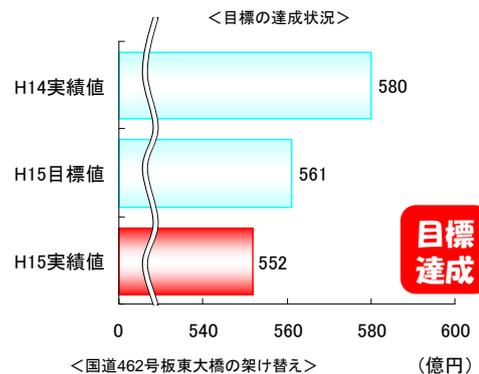
### 達成度報告

- ◇平成14年度現況値：580億円/年
- ◇平成15年度目標値：561億円/年
- ◇平成15年度実績値：552億円/年【達成】

・西久保交差点、坂東大橋付近の渋滞の緩和により、28億円/年の渋滞損失額が削減されました。



・右折レーンの設置により、渋滞損失額が87億円/年から75億円/年に削減されました。



・橋梁の架け替え(4車線化)により、渋滞損失額が28億円/年から12億円/年に削減されました。

### 今後の課題

- ◇渋滞箇所の解消に向けたさらなる取り組みの推進
- ◇より分かりやすい指標への変更を検討

・平成16年度以降も渋滞対策を推進し、渋滞損失の削減に取り組んでいきます。  
 ・渋滞損失は金額で示されても直感的に理解しにくいということもあり、単位を時間に変更するなど、より分かりやすい指標となるよう検討を加える必要があります。

## 6. 渋滞の解消 ②【渋滞箇所の解消】

### 課題

◇群馬県では、平成10年度の「渋滞対策プログラム」において渋滞箇所に指定された60箇所のうち21箇所が未整備のままとなっており、これら深刻な渋滞が発生している箇所における早期の対策実施が課題となっていました。

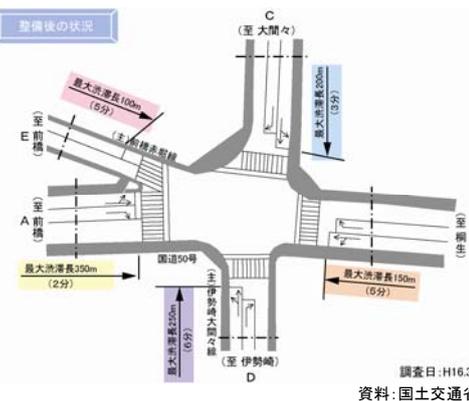
### 平成15年度の業績《実施した事業とその成果》

### 事業

◇渋滞箇所に指定されている国道50号西久保交差点の改良と国道462号坂東大橋の架け替えが完了しました。また、平成15年度には、残る19箇所のうち18箇所においても事業が進められ、早期の対策完了、渋滞の解消が期待されます。

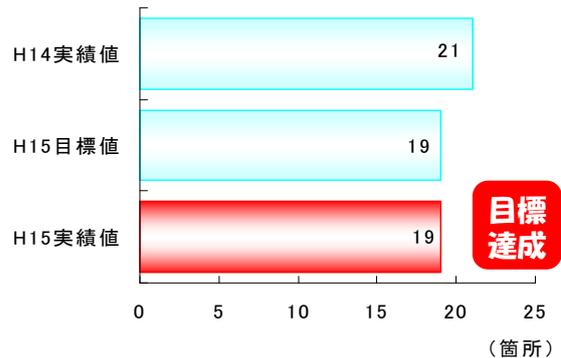
- ◇平成14年度現況値：21箇所
- ◇平成15年度目標値：19箇所
- ◇平成15年度実績値：19箇所【達成】

### 達成度報告

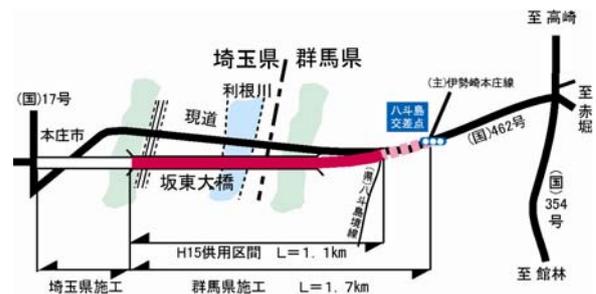


・右折レーンの設置により混雑は緩和されました。

＜目標の達成状況＞



＜国道462号坂東大橋の架け替え＞



・坂東大橋の4車線架け替えにより、渋滞箇所に指定されていた八斗島交差点の渋滞が解消されました。

### 今後の課題

◇渋滞箇所の解消に向けたさらなる取り組みの推進

・平成16年度以降も渋滞対策を推進し、渋滞箇所の解消に取り組んでいきます。

## 6. 渋滞の解消 ③【平成15年度に完了した事業1】

### 【主な完了事業1】 国道50号 西久保交差点改良

**期 間**

平成13年度～平成15年度

**完了日**

平成16年2月28日

#### 事業完了前の状況

群馬県内の一般国道50号では唯一の2車線区間において、国道50号が主要地方道伊勢崎大間々線と交わる西久保交差点では深刻な渋滞が発生しており、損失額は年間87億円にもものぼり、主要渋滞ポイントに指定されていました。

#### 完了した事業の内容

右折レーンが延伸、供用されました。

#### 位置図



#### 事業の概要



#### 現道の状況



#### 工事の状況



#### 開通後の状況



#### 事業の成果

国道50号西久保交差点は右折レーンの整備により渋滞が解消され、12億円の渋滞損失額が削減されました。  
また、交差する道路についても渋滞の解消がはかられ、西久保交差点及びその周辺の自動車走行環境が大幅に改善されました。

## 6. 渋滞の解消 ④【平成15年度に完了した事業II】

### 【主な完了事業2】 国道462号 坂東大橋架け替え

**期 間** 平成7年度～平成15年度 **完了日** 平成16年3月6日

#### 事業完了前の状況

国道462号坂東大橋は、群馬県伊勢崎市と埼玉県本庄市を結ぶ、群馬県が管理する中で一番長い橋です。昭和6年に架橋されたために老朽化が進むとともに、2車線であるために慢性的な渋滞が発生し、県境交通のボトルネックとなっていました。

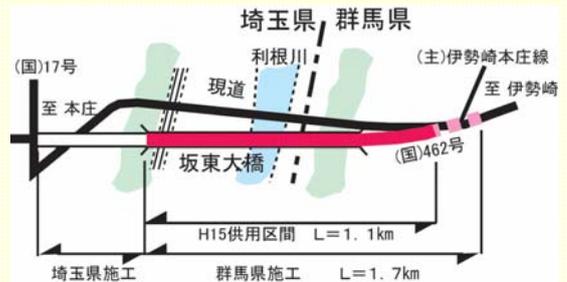
#### 完了した事業の内容

坂東大橋を含む1,096m区間が4車線化供用されました。

#### 位置図



#### 事業の概要



#### 現道の状況



#### 工事の状況



#### 開通後の状況



#### 事業の成果

坂東大橋を2車線から4車線化したことにより、伊勢崎市から埼玉県本庄市までの所要時間※が39分から11分へと大幅に短縮されました。また、これに伴って渋滞損失額は16億円削減されました。

※伊勢崎市の国道354号(市民の森南側交差点)～埼玉県本庄市の国道17号(若泉二丁目交差点)間の所要時間

## 7. 自転車走行空間の確保（サイクリングロード整備率）

### 課題

◇群馬県内には、段差や急勾配、自転車と歩行者が分離されていない歩道、自転車駐輪場の未整備など、自転車の利用しにくい環境が多く残されており、快適な自転車走行環境を実現することが課題となっていました。

### 平成15年度の業績《実施した事業とその成果》

### 事業

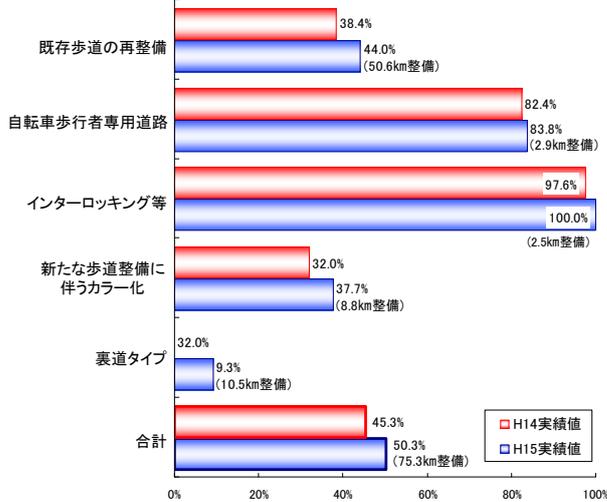
◇計画区間が約1,500kmにおよぶ「サイクリングロードネットワーク計画」において、未整備区間約820kmのうち約80kmを整備し、自転車利用者の走行環境改善に向けた取り組みを進めました。

\*「サイクリングロードネットワーク計画」：国道、県道に限らず市町村道、農道などを連結してサイクリングロードのネットワーク化を図るとともに、公共機関との連携や標識、駐輪場の整備などによって自転車を利用しやすい郷土の建設を図る計画です。

### 達成度報告

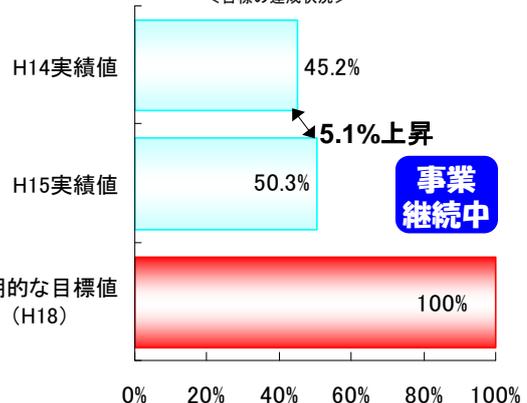
◇平成14年度実績値 : 45.2%  
 ◇平成15年度実績値 : 50.3%  
 ◇中期的な目標値(H18) : 100.0%  
**【事業継続中】**

<「サイクリングロードネットワーク計画」の整備状況>



・カラー舗装や自転車専用道路など約75kmを整備したことで、サイクリングロード整備率が約5ポイント向上しました。

<目標の達成状況>



<平成15年度サイクリングロード整備状況>



- 【上】案内標識の整備  
国道354号[高崎市]
- 【右上】カラー舗装  
国道254号[富岡市]
- 【右】路面標識(自転車注意マークの設置)  
(主)前橋大間々桐生線[前橋市]

資料：群馬県

### 今後の課題

◇「サイクリングロードネットワーク計画」のさらなる推進

・今後も段差や急勾配の解消などのバリアフリー化、路面のカラー化などによる自転車と歩行者の分離、駐輪場や自転車歩行者専用道路の整備などを進め、「サイクリングロードネットワーク計画」を平成18年までに概成することを目標に事業に取り組んでいきます。

## 8. 産業・観光の振興 ①【幹線交通30分乗り入れ圏域の拡大】

### 課題

◇「幹線交通乗り入れ30分構想」を達成する市町村の割合は81.2%※で、上信自動車道や北関東自動車道、高速道路へのアクセス道の未整備が原因で、高速交通ネットワークの恩恵を受けることが困難な地域が残されていることが課題となっていました。※役場から新幹線駅または高速道路などのインターチェンジに30分以内で到達可能な市町村の割合

### 平成15年度の業績《実施した事業とその成果》

### 事業

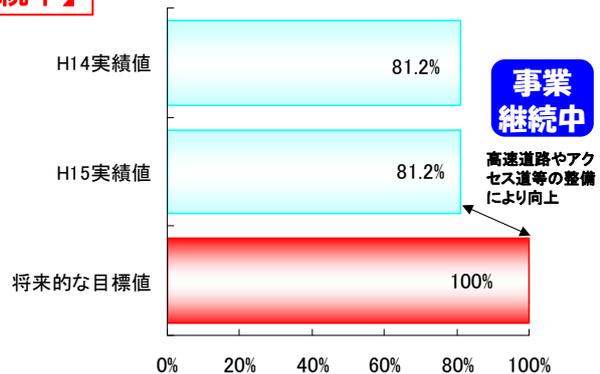
◇平成15年度は上信自動車道、北関東自動車道の整備促進とともに(13ページ参照)、高速道路インターチェンジへのアクセス道の整備に取り組みました。

◇平成14年度現況値：81.2%  
 ◇平成15年度実績値：81.2%  
 ◇将来的な目標値：100.0%

【事業継続中】

・将来的に100%の達成をめざし、上信自動車道や北関東自動車道、および高速道路へのアクセス道の整備を進めていきます。

<目標の達成状況>



### 達成度報告



北関東自動車道伊勢崎-太田間 工事状況  
 (太田市西長岡町[西長岡跨線橋付近])

資料：太田市



部分供用された(主)前橋長瀬線バイパス  
 (神流町～上信越自動車道へのアクセス道)

資料：群馬県

<主な「幹線交通乗り入れ30分構想」対応路線>

道路名	事業の内容	「幹線交通乗り入れ30分構想」が新たに達成可能となる市町村
北関東自動車道	伊勢崎I.C.以東の延伸	桐生市・太田市・大泉町 (→北関東自動車道(仮)太田I.C.)
上信自動車道	全線供用	吾妻町・長野原町・嬬恋村・草津町・六合村 (→上信自動車道)
国道120号	椎坂バイパス整備 (利根村～白沢村)	片品村 (→関越自動車道 沼田I.C.)
主要地方道 前橋長瀬線	バイパス整備 (藤岡市)	神流町 (→上信越自動車道 藤岡I.C.)
一般県道 大原境線	バイパス整備 (藪塚本町)	東村・黒保根村 (→北関東自動車道(仮)藪塚I.C.)

### 今後の課題

◇上信自動車道および北関東自動車道の整備促進  
 ◇インターチェンジへのアクセス道のさらなる整備

・上信自動車道および北関東自動車道の整備により、高速交通ネットワークの恩恵を県内のあらゆる地域で享受することができる道路整備を進めていきます。  
 ・既存の高速道路インターチェンジへのアクセス道、および整備中である北関東自動車道へのアクセス道の整備を促進し「幹線交通乗り入れ30分構想」の達成をめざしていきます。

## 8. 産業・観光の振興 ②【規格の高い道路の利用の向上】

### 課題

◇上信自動車道が整備されていない吾妻地方、北関東自動車道が整備されていない東毛、桐生地方、および国道17号上武道路が整備されていない前橋地方では規格の高い道路の利用率が低く幹線道路、生活道路等の機能が混在し、迅速で確実な移動が困難であることが課題となっていました。

### 平成15年度の業績《実施した事業とその成果》

### 事業

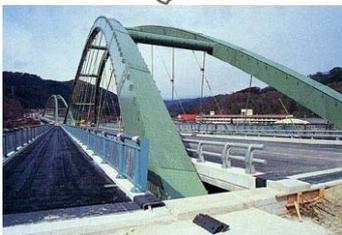
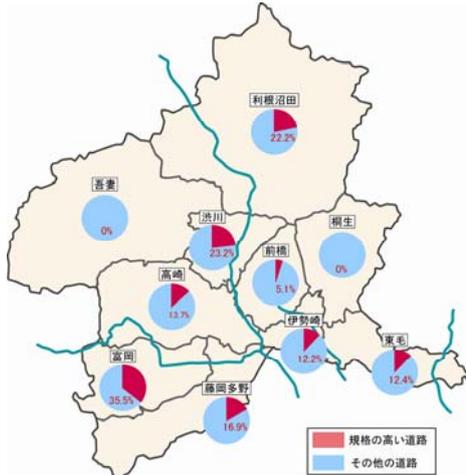
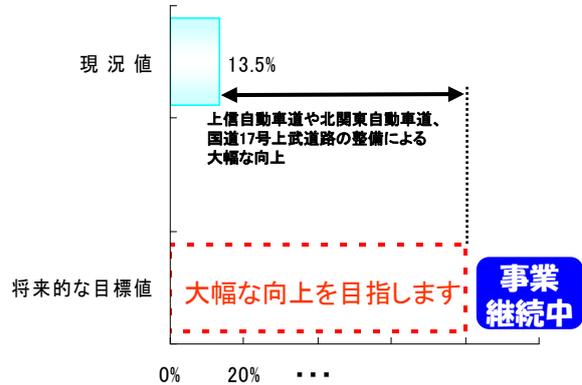
◇上信自動車道や北関東自動車道、国道17号上武道路等の規格の高い道路の整備に向けた取り組みを進めてきました。

### 達成度報告

◇現況値：13.5%  
※H11道路交通センサスの実績値  
 ◇将来的な目標値：大幅な向上  
**【事業継続中】**

・道路の適正な機能分配の実現を目指し、引き続き規格の高い道路の整備を進めていきます。

<目標の達成状況>



上信自動車道の一部となる国道145号ハツ場バイパス



北関東自動車道西岡跨線橋 (伊勢崎I.C.～(仮)太田I.C.間)



国道17号上武道路(7工区:富田第三跨道橋)

### 今後の課題

◇上信自動車道、北関東自動車道および国道17号上武道路の整備促進

- ・引き続き上信自動車道や北関東自動車道、国道17号上武道路の整備促進に取り組み、前橋、東毛、桐生、吾妻地方における道路の適正な機能分配をめざしていきます。
- ・指標の算出に用いられる「道路交通センサス」が数年に一度しか実施されない調査であるため、毎年度の更新が可能な指標の出典、算出方法を検討していく必要があります。

## 9. 情報の公開【ホームページアクセス件数】

### 課題

◇平成14年度における高崎河川国道事務所のホームページへのアクセス数は全国に87箇所ある国土交通省の事務所※の中で82位とワースト5となっており、ホームページの充実を図った上で、道路行政の情報源として積極的に活用をしていくことが課題となっていました。 ※管理を行う事務所を対象としたアクセス件数の順位。北海道は開発建設部

### 平成15年度の業績《実施した事業とその成果》

### 事業

◇平成15年7月に全面リニューアルし、お役立ち情報を提供するとともに、ホームページを飾る写真を広く一般より募集してトップページに掲載するなどの工夫を行いました。

### 達成度報告

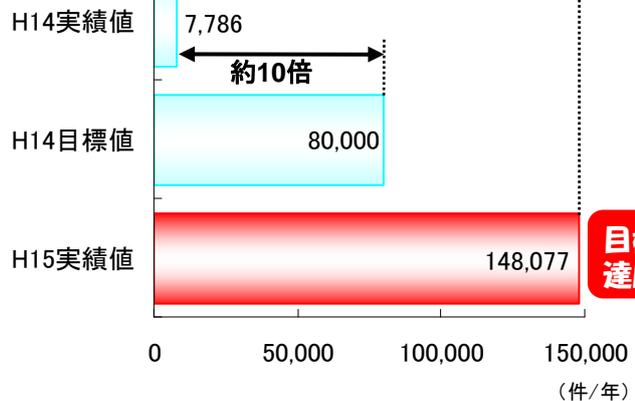
- ◇平成14年度現況値： 7,786件/年
- ◇平成15年度目標値： 80,000件/年
- ◇平成15年度実績値： 148,077件/年【達成】

・目標を大きく上回るアクセス数を得られただけでなく、前年度比約19倍と、全事務所の中で最もアクセス数が増加しました。

<高崎河川国道事務所のホームページ>



<目標の達成状況>



**目標達成**

参考：群馬県道路関係課・各土木事務所 H15年度アクセス数：12,561件/年

### 今後の課題

- ◇ホームページのさらなる充実
- ◇ホームページへのアクセスしやすさの向上

・今後も県民の皆様の情報に対するニーズを把握し、それらをホームページのコンテンツやサイトの構成、表現方法などのさらなる充実に反映していく必要があります。  
・さらに、インターネットを利用する中で、道路関係ホームページの発信する情報にアクセス可能となるよう、関係するホームページからのリンクや検索サイトへの登録など、ホームページへのアクセスを容易にすることも重要です。

# 10. 今後の課題

## ◆道路行政マネジメントの確立に向けて◆

今回、成果主義の道路行政マネジメントの確立に向けた取り組みとしてはじめて作成した「平成15年度アウトカム・プラン」について、群馬県の道路行政の成果を指標によって評価することを目的として「平成15年度アウトカム・レポート」の作成・公表を行いました。

しかしながら、今年度は「マネジメント・サイクル」が一巡する最初の年度でもあり、事業の内容や成果の達成状況だけではなく、県民の皆様にとって分かりづらかったり、目標として数値化しにくいものを成果指標として設定するなど、いくつかの課題も明らかになりました。

平成16年度の道路行政の推進にあたっては、そのような課題を改めて検討し、より一層県民の皆様の生活実感にあう道路行政の実現に向けた取り組みを進めていきます。

	課題	成果指標[単位]	H14 現況値	H15目標値	H15実績値	目標 達成状況	今後の課題	
							指標に関する課題	事業に関する課題
県民の暮らしを暮らしを守り、安心して暮らすための道路整備	交通事故の削減	あんしん歩行エリアの整備	16箇所	あんしん歩行エリアに指定された16箇所の整備により、平成19年までにエリア内の死傷事故件数の2割削減をめざす		事業継続中	○急増する死傷事故に対する対策を強化するため、中長期的な目標だけではなく、単年度で成果の検証が可能な指標を導入する必要性を検討する	○中長期的な目標達成をめざし、今年度以降も継続して「あんしん歩行エリア」の整備に取り組んでいく
		事故危険箇所の解消	174箇所	事故危険箇所に指定された174箇所の解消により、平成19年までに事故危険箇所内の死傷事故件数の3割削減をめざす		事業継続中	○急増する死傷事故に対する対策を強化するため、中長期的な目標だけではなく、単年度で成果の検証が可能な指標を導入する必要性を検討する	○中長期的な目標達成をめざし、今年度以降も継続して「事故危険箇所」の解消に取り組んでいく
	医療・福祉の向上	総合病院30分到達カバー圏域の拡大 ※可住地面積における割合	83.4%	83.8% 約7,000人を新たに到達可能とする	83.4%	未達成	—	○引き続き山間部を中心とした未改良道路の整備を進めることにより、総合病院に30分以内で到達可能なエリアの拡大に向けた取り組みを進めていく
生活環境を保全し、豊かな生活を支援する道路整備	渋滞の解消	渋滞損失額の削減 ※未整備箇所における損失額	580億円/年	561億円/年 西久保交差点及び坂東大橋の整備	552億円/年	達成	○渋滞損失を金額で把握することは直感的に困難であり、単位を時間に変更するなどより分かりやすい指標とするよう検討する	○引き続き渋滞対策に取り組み、渋滞損失の削減に取り組んでいく
		渋滞箇所の解消	21箇所	19箇所	19箇所	達成	—	○引き続き渋滞対策に取り組み、渋滞箇所の解消に取り組んでいく
	自転車の確保	サイクリングロード整備率	45.2%	平成18年までに概ね完成 (平成15年度実績値:50.3%)		事業継続中	—	○平成18年度までに整備率を概ね100%とすることをめざし、今年度以降も継続して「サイクリングロードネットワーク計画」の未整備区間における事業を進めていく
個性豊かな地域の自立と振興	産業・観光の振興	幹線交通30分乗り入れ圏域の拡大	81.2%	上信自動車道や北関東自動車道およびインターチェンジへのアクセス道の整備により将来的には100%の達成をめざす		事業継続中	—	○引き続き既存の高速道路インターチェンジへのアクセス道および上信自動車道や北関東自動車道の整備を進めていく
		規格の高い道路の利用の向上	13.5%	上信自動車道や北関東自動車道および国道17号上武道路の整備促進により大幅な向上をめざす		事業継続中	○指標の算出に用いられる「道路交通センサス」が数年に一度しか実施されない調査であるため、毎年度の更新が可能な指標の典拠、算出方法を検討する	○引き続き上信自動車道や北関東自動車道、国道17号上武道路の整備を進めていく
情報の公開		ホームページアクセス数	7,786件/年	80,000件/年	148,077件/年	達成	○国土交通省高崎河川国道事務所だけでなく、群馬県道路関係課及び土木事務所へのホームページアクセス件数を指標として追加することを検討する	○引き続き県民の皆様の情報に対するニーズの把握に努め、ホームページの内容やリンクなどのさらなる充実を図っていく